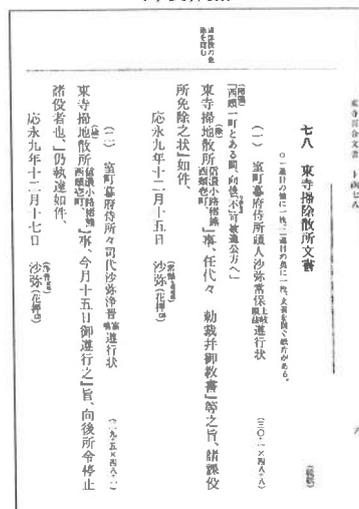


東寺百合文書

第1期 全10巻

最新刊 第9巻 2011年10月刊行

(本文体裁)



※東寺百合文書とは、東寺に襲蔵されてきた、奈良時代から江戸時代初期まで約九百年にわたる、総数一万八千点・二万七千通におよぶ日本最大の古文書群である（平成9年国宝に指定）。

※本史料集には「ひらかな之部」刊行中の『大日本古文書』未収録の「カタカナ之部」を翻刻。

※本文組み体裁などは『大日本古文書』本にならい、巻末に収録史料の花押一覧を併載。

※第1期全10巻は年1回配本（最終全60巻の予定）。

※A5判・平均450頁・上製本・箱入・平均予価9,500円

- ▶ 第1巻 (イ函・口函一) A5判・490頁/定価9,975円税込/ISBN4-7842-1182-9
- ▶ 第2巻 (口函二) A5判・446頁/定価9,975円税込/ISBN4-7842-1224-8
- ▶ 第3巻 (口函三) A5判・444頁/定価9,975円税込/ISBN4-7842-1266-3
- ▶ 第4巻 (口函四・ハ函一) A5判・450頁/定価9,975円税込/ISBN4-7842-1319-8
- ▶ 第5巻 (ハ函二) A5判・454頁/定価9,975円税込/ISBN978-4-7842-1364-1
- ▶ 第6巻 (ハ函三・ニ函一) A5判・432頁/定価9,975円税込/ISBN978-4-7842-1435-8
- ▶ 第7巻 (ニ函二) A5判・450頁/定価9,975円税込/ISBN978-4-7842-1480-8
- ▶ 第8巻 (ニ函三・ホ函・ヘ函・ト函一) A5判・448頁/定価9,975円税込/ISBN978-4-7842-1532-4
- ▶ 第9巻 (ト函二・チ函一) A5判・446頁/定価9,975円税込/ISBN978-4-7842-1585-0

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	東寺百合文書 第1巻	本体9,500円 (税別)	ISBN4-7842-1182-9	
	冊	第2巻	本体9,500円 (税別)	ISBN4-7842-1224-8	
	冊	第3巻	本体9,500円 (税別)	ISBN4-7842-1266-3	
	冊	第4巻	本体9,500円 (税別)	ISBN4-7842-1319-8	
	冊	第5巻	本体9,500円 (税別)	ISBN978-4-7842-1364-1	
	冊	第6巻	本体9,500円 (税別)	ISBN978-4-7842-1435-8	
	冊	第7巻	本体9,500円 (税別)	ISBN978-4-7842-1480-8	
	冊	第8巻	本体9,500円 (税別)	ISBN978-4-7842-1532-4	
	冊	第9巻	本体9,500円 (税別)	ISBN978-4-7842-1585-0	
□第一期全10巻を以後継続でご注文					
お名前				tel	
				e-mail	
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)				

書店番線印

東寺文書と中世の諸相

東寺文書研究会編

日本の古文書を代表する史料群であり、中世の基本史料である東寺文書に魅せられた中世史研究者により、1994年以降続けられた東寺文書研究会での研究成果の第二弾。研究会の報告を基礎に最新の成果を披露した19篇。

▶A5判・654頁／定価 11,550円

ISBN978-4-7842-1578-2

戦国期権力佐竹氏の研究

佐々木倫朗著

室町期から戦国期にかけ、佐竹氏がどのような過程をへて権力形成を行ったのかという基礎的な課題をはじめ、一族衆や国衆等の活動、佐竹氏と地域社会との関わりやその地域編成について、佐竹氏が発給した「知行充行状」・秋田藩家蔵文書等の史料を通じて考察する。

▶A5判・304頁／定価 6,090円

ISBN978-4-7842-1569-0

中近世農業史の再解釈『清良記』の研究

伏見元嘉著

戦国末期伊予の軍記『清良記』全30巻を分析。その著者および成立年代を確定し、日本最古の農書とされる第7巻「親民鑑月集」の位置づけを明かす。近世農業の始まりとしての農書という定説をくつがえし、中世農業の最終段階をはじめて詳説したと位置づけ直す。

▶A5判・424頁／定価 8,190円

ISBN978-4-7842-1562-1

※室町幕府文書集成奉行人奉書篇 [全2巻]

今谷明・高橋康夫編

室町時代の基本的史料である奉行人奉書。南北朝時代から永禄11年9月の信長入京までの4000余通を編年で集成し、足利義材・義澄・義維の奉行人奉書を付篇に収録した。

▶A5判・総1200頁／(上) 定価 7,350円
(下) 定価 8,400円

ISBN4-7842-0436-9
ISBN4-7842-0437-7

京都大学文学部 博物館の古文書 [全12輯]

京都大学文学部日本史研究室所蔵の古文書の中からテーマ毎に編集、代表的なものを写真で紹介し、その解説・釈文を付す。関係史料や地図・表なども併載し、古文書の研究と鑑賞に資す。

▶B4判・各32頁／定価各 2,100円

	ISBN4-7842-	
第1輯	長講堂領目録と島田家文書 (解説: 大山喬平)	0494-6
第2輯	若狹秦家文書 (解説: 熱田 公)	0513-6
第3輯	細川頼之と西山地蔵院文書 (解説: 大山喬平)	0529-2
第4輯	勧修寺家本職掌部類 (解説: 吉川真司)	0553-5
第5輯	駿河伊達家文書 (解説: 今岡典和)	0571-3
第6輯	東大寺文書 (解説: 久野修義)	0598-5

織豊期主要人物居所集成

藤井讓治編

織豊期を生きた政治的主要人物の移りゆく居所の情報を編年でまとめた研究者・歴史愛好家必携の書! 政権の中心人物など総勢25名を収録。辞書的な利用はもちろん、通覧すれば秀吉の天下統一の道程や戦国武将の動静、同時代人たちの交流を詳細に追える。

▶B5判・476頁／定価 7,140円

ISBN978-4-7842-1579-9

戦国大名武田氏の権力構造

丸島和洋著

甲斐武田氏を分析対象とし、家中を代表して他大名との外交を担った「取次」に着目。領国支配における意思伝達経路の検討とあわせて、大名権力の中核を構成する家臣や、大名と家臣の関係について見つめ直し、戦国大名の権力構造を明らかにする。

▶A5判・436頁／定価 8,925円

ISBN978-4-7842-1553-9

天龍寺文書の研究

原田正俊編

京都嵯峨の名刹・天龍寺の古文書は、仏教史・寺院史のみならず、政治史・社会経済史研究に必須の文書群である。第一部には鎌倉時代〜慶長5年の中世天龍寺関係文書および関連諸塔頭文書を翻刻・掲載、第二部には研究編として解説・論考を収録する。

▶A5判・716頁／定価 14,700円

ISBN978-4-7842-1571-3

禁裏・公家文庫研究 [既刊3冊]

田島公編

古典籍や古文書が約6万部所蔵されていると言われながら、勅封のため全容が不明であった東山御文庫本など近世の禁裏文庫収蔵の写本や、交流がある公家の文庫収蔵本に関する論考・データベース・史料紹介を収録。

▶B5判・平均420頁／①②定価各10,290円・③定価12,390円

※陽明叢書 記録文書篇 [全12輯・全31冊・別輯1]

近衛通隆監修/陽明文庫編集

近衛家伝来の文庫襲蔵の記録及び文書中より中世の未公刊史料を中心に影印で刊行。各輯ごとに書誌および史料的位置、当時の時代背景、さらに近衛家にも触れた解説を付す。

第1輯 御堂関白記 (全5冊) 【①②④品切】

▶A5判・平均480頁／③⑤揃定価21,315円

第2輯 岡屋関白記・深心院関白記・後知足院関白記 (全1冊)

▶A5判・626頁／定価14,700円

第3輯 後法成寺関白記 (全3冊) ▶A5判・平均580頁／揃定価36,330円

第4輯 後深心院関白記 (全3冊) ▶A5判・平均580頁／揃定価37,800円

第5輯 人車記 (全4冊) ▶A5判・平均420頁／揃定価50,400円

第6輯 平記・大府記・永昌記・愚味記 (全1冊) 【品切】

第7輯 中右記 (全4冊)

▶A5判・平均550頁／揃定価57,750円

第8輯 後法興院記 (全4冊)

▶A5判・平均540頁／揃定価58,800円

第9輯～第12輯 【未刊】

別輯 宮城図 (全1冊) ▶複製篇 A4判大・表紙付折本
▶解説篇 A4判・230頁・上製本 定価18,900円

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印には汚れ・傷みがございます。予めご了承ください。